

## パーソナルオーディオシステム

### 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

**警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書をよくお読みの上、製品を安全に利用してください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



・ 4 4 5 7 5 2 4 0 1 ・ (1)



©2013 Sony Corporation Printed in China

SRS-BTX500

### 各部のはたらき

#### BATTERY/CHARGEランプ

状態によって点灯、点滅、消灯します。詳しくは「BATTERY/CHARGEランプ表示について」をご覧ください。

#### Nマーク

NFC機能搭載のスマートフォンと本機をペアリング、接続するときにタッチします。

#### ☑ (通話) ボタン

電話を受けます。通話中の操作もできます。

#### VOLUME(音量) −/+ ボタン

音量を調節します。

#### イルミネーション

状態によって、色が変わります。詳しくは「イルミネーション表示について」をご覧ください。

#### マイク

本機で通話するときに使います。

#### スタンド

本機を使用するとき開きます。

#### DC IN 15V端子

付属のACアダプターをつなぎます。

#### AUDIO IN端子

接続コード(別売)を使って、ポータブルオーディオ機器やパソコンなどのヘッドホン端子につなぎます。

**BLUETOOTH STANDBYスイッチ**  
Bluetoothスタンバイ機能のオン、オフを切り換えます。

#### RESETボタン

本機をリセットします。

#### DC OUT ONLY端子(USB)

本機とUSB接続することでお待ちスマートフォンなどの機器を充電できます。

#### SOUNDボタン

音響効果を選びます。

#### SOUNDランプ

音響効果によって点灯します。

#### AUDIO INボタン

接続コード(別売)でつないだ機器の音声を聞くときに押します。

#### AUDIO INランプ(オレンジ色)

AUDIO INモード時に点灯します。

#### BLUETOOTH-PAIRINGボタン

Bluetooth機器と接続するときに使います。

#### Bluetoothランプ(青色)

接続状態によって点灯、点滅、消灯します。詳しくは「Bluetooth機能のランプ表示について」をご覧ください。

#### I/⏻(電源) ボタン

電源を／／切します。

#### BATTERY/CHARGEランプ表示について(本機内蔵リチウムイオン電池)

| 状態    | BATTERY/CHARGEランプ |
|-------|-------------------|
| 電源入時  | 緑色に点灯(充電池のみのご使用時) |
| 充電必要時 | 緑色に点滅             |
| 充電時   | オレンジ色に点灯          |
| 充電終了時 | 消灯                |

#### イルミネーション表示について

| 状態                          | イルミネーション |
|-----------------------------|----------|
| AUDIO INモード時                | 白く点灯     |
| Bluetooth未接続                | 白く点灯     |
| Bluetooth接続時                | 青く点灯     |
| VOLUME −/+ ボタンを 白く1回点滅押したとき | 白く1回点滅   |
| ボリュームが最大/最小時                | 白く3回点滅   |

#### ☞ヒント

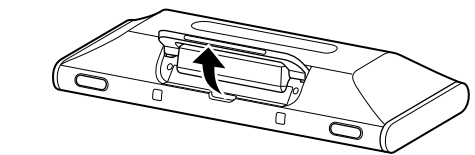
BLUETOOTH-PAIRINGボタンを押しながらI/⏻(電源)ボタンを押し続けると、イルミネーションのオン、オフを切り換えることができます。

#### Bluetooth機能のランプ表示について

| 状態              | Bluetoothランプ(青色) |
|-----------------|------------------|
| ペアリング中          | 早く点滅             |
| Bluetooth接続待ち   | 点滅               |
| Bluetooth接続済み   | 点灯               |
| Bluetoothスタンバイ時 | ゆっくり点滅           |

### スタンドを開く

スタンドを開いて本機を立てます。



#### スタンドを閉じるには

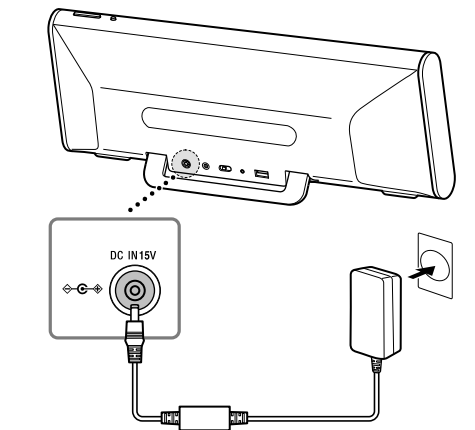
スタンドを矢印と反対の方向に閉じてください。

### 本機の電源を入れる／充電する

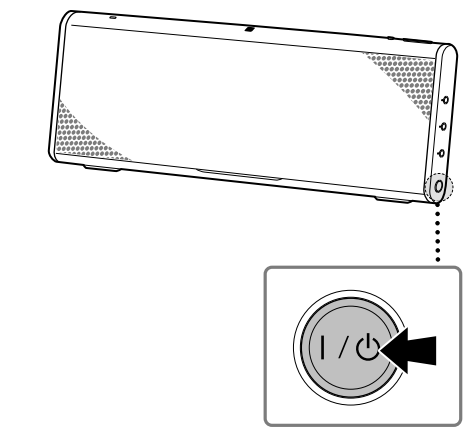
本機は、ACアダプターまたは内蔵リチウムイオン充電池のどちらでもお使いいただけます。はじめて本機を使うときは、ACアダプターをつないで充電してください。

#### 1 ACアダプター(付属)をつなぐ。

BATTERY/CHARGEランプ(オレンジ色)が点灯して自動的に充電が始まり、充電完了後に消灯します。充電時間は約4時間です。



#### 2 I/⏻(電源)ボタンを押す。



#### ☞ヒント

あらかじめ充電しておけば、ACアダプターを使わずに充電池のみで本機を使えます。

#### ☞注意

- BATTERY/CHARGEランプが下記のように点滅したら、本機を充電してください。また、このような場合、おそろわけ充電はできません。
  - 緑色に点滅したとき(電池残量が少なくなっています)。
  - 充電を入れたあと、オレンジ色に点滅してから消灯したとき(電池残量がまったくありません)。
- ACアダプターを抜き差しして、本機の電源をACアダプターから充電池に、または充電池からACアダプターに切り換えると、少しの間音が途切れますが異常ではありません。
- ACアダプターを抜いた状態では、本機の最大出力が低下します。
- 温度が非常に高いところや低いところでご使用になる場合は、下記のような症状が発生する場合がありますが、故障ではありません。
  - 充電が早く終わったり、充電できなかったりします。
  - BATTERY/CHARGEランプが緑色に3回点滅して動作が止まることがあります。
- 機能を維持するために、半年に一度は充電してください。

#### 内蔵電池の寿命について

- 充電池には寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれ、充電池の容量は少しずつ低下します。いっぱい充電しても、使用できる時間が極端に短くなったと感じたときには、充電池を交換してください。
- 充電池の寿命は、保管方法、使用状況や環境によつて異なります。
- 充電池を交換するときは、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

#### 本機をリセットするには

動作がおかしいときは、ピンなどの先端の細いもので本機背面のRESETボタンを押してください。

### Bluetooth機器を本機に接続する

お使いの機器に搭載されたBluetooth機能を使って音楽や通話をワイヤレスに楽しめます。音楽を聞きたい機器の種類によって、次の3つのパターンから接続方法を選んでください。接続する機器の使いかたについて詳しくは、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

#### はじめてペアリングするときは:

#### パターンAへ

接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといえます。初めて本機と組み合わせ使う場合は最初にペアリングしてください。

#### ペアリング済みの機器を使うには:

#### パターンBへ

すでに本機とのペアリングが済んでいる機器から音楽を聞く場合はこちらのパターンです。

#### NFC機能搭載のスマートフォンを使うには:パターンCへ

NFC機能搭載のスマートフォンなら、本機にタッチするだけでBluetooth接続ができます。

#### 操作をはじめる前に、以下をご確認ください。

- 本機とBluetooth機器が1 m以内に置かれている。
- ACアダプターに接続されているか、充電池が十分に充電されている。
- 接続するBluetooth機器の取扱説明書を準備する。

### パターンA

### Bluetooth機器と本機をペアリング(登録)してから接続する

#### 1 本機の電源を入れる。

Bluetoothランプ(青色)が点滅します。AUDIO INランプ(オレンジ色)が点灯しているときは、BLUETOOTH-PAIRINGボタンを押してください。

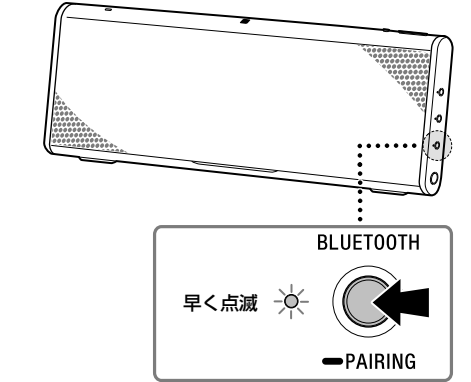
#### 2 Bluetooth機器のBluetooth機能をオンにする。

詳しくは、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

#### 3 本機のBLUETOOTH-PAIRINGボタンを、スピーカーからビビッと音が聞こえるまで押し続ける。

Bluetoothランプ(青色)が早く点滅し始め、ペアリングモードに入ります。

**☞ヒント**  
ご購入後に初めて電源を入れたときは、Bluetoothランプ(青色)は自動的に早く点滅します。



#### 4 Bluetooth機器でペアリング操作を行い、本機を検索する。

#### 5 Bluetooth機器の画面に表示されている「SRS-BTX500」を選択し、決定する。

Bluetooth機器の画面に「SRS-BTX500」が表示されない場合は、もう一度手順2から操作してください。

**☞注意**  
機器によっては検出した機器の一覧を表示できない場合があります。

#### 6 Bluetooth機器の画面でパスコード\*の入力を要求されたら「0000」を入力する。

\* パスコードは、パスキー、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

#### ☞ヒント

複数のBluetooth機器とペアリングするには、ペアリングしたい機器ごとに手順2～6を繰り返してください。

#### ☞注意

- 本機のペアリングモードは約5分で解除され、Bluetoothランプ(青色)が遅い点滅に変わります。手順が完了する前に本機のペアリングモードが解除されてしまった場合は、もう一度手順3から操作してください。

- 本機のパスコードは「0000」に固定されています。パスコードが「0000」でないBluetooth機器とペアリングすることはできません。
- 一度ペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合は再度ペアリングが必要です。
  - 9台以上の機器をペアリングしたとき。

本機は合計8台までのBluetooth機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台の中で最後に接続した日時が最も古い機器のペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。

- 本機は複数の機器とペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。

### パターンB

### ペアリング(登録)済みのBluetooth機器と接続する

#### 1 本機の電源を入れる。

Bluetoothランプ(青色)が点滅します。AUDIO INランプ(オレンジ色)が点灯しているときは、BLUETOOTH-PAIRINGボタンを押してください。

#### 2 Bluetooth機器のBluetooth機能をオンにする。

#### ☞ヒント

本機と最後にBluetooth接続した機器のBluetooth機能をオンにすると、本機は自動的に接続しようとしします。Bluetooth接続が完了すると、Bluetoothランプ(青色)が点滅から点灯に変わります。

#### 3 Bluetooth機器の画面に表示されている「SRS-BTX500」を選択し、決定する。

プロフィールが表示されたら次を選んでください。

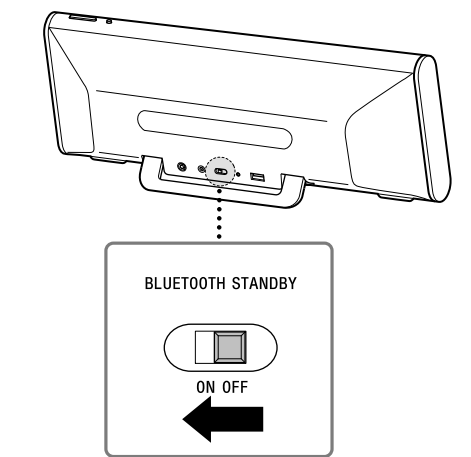
- 音楽を聞くとき: オーディオ(A2DP)
- 通話するとき: ヘッドセット(HSP)、ハンズフリー(HFP)

それぞれのプロフィールについては、「Bluetooth無線技術について」をご覧ください。Bluetooth接続が完了し、本機のBluetoothランプ(青色)が点滅から点灯に変わります。

- ☞注意**  
Bluetooth機器によっては、この手順が必要ない場合があります。
- Bluetooth機器と接続できない場合は、Bluetooth機器から本機「SRS-BTX500」を削除し、再度ペアリングしてください。

#### Bluetoothスタンバイ機能

Bluetoothスタンバイ機能をオンにしておくと、Bluetooth機器の操作で自動的に本機の電源が入り、操作することができます。



#### ☞注意

充電池のみでご使用の場合、電源が入っていてもBLUETOOTH STANDBYスイッチをオンにしておくと、電池の消耗が早くなります。

### パターンC

### ワンタッチ(NFC)でスマートフォンと接続する

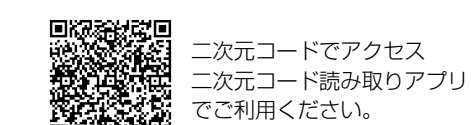
スマートフォンでタッチするだけで、自動的に本機の電源が入り、Bluetooth機器のペアリングや接続ができます。

#### 1 スマートフォンに「NFC簡単接続」アプリをダウンロードする

Google Playで入手できるAndroid専用の無料のアプリです。「NFC簡単接続」で検索するか、以下の二次元コードでアクセスし、アプリをダウンロードします。ダウンロードには別途通信料が発生します。

#### ☞ヒント

スマートフォンによっては、「NFC簡単接続」アプリをダウンロードしなくてもワンタッチ接続が可能な場合があります。またその場合、スマートフォンの動作や仕様とは本機の説明と異なることがあります。詳しくは、お使いのスマートフォンに付属の取扱説明書をご覧ください。



二次元コードでアクセス  
二次元コード読み取りアプリでご利用ください。

#### 対応のスマートフォン

- NFC機能またはおサイフケータイ機能を搭載したスマートフォン(対応OS:Android 2.3.3以降、Android 3.xを除く)
  - 詳しくは、サポートページ(<http://www.sony.jp/support/av-acc/>)をご覧ください。

#### NFCとは

携帯電話やICタグなど、さまざまな機器間で近距離無線通信を行うための技術です。指定の場所に「タッチする」だけで、簡単にデータ通信が可能となります。

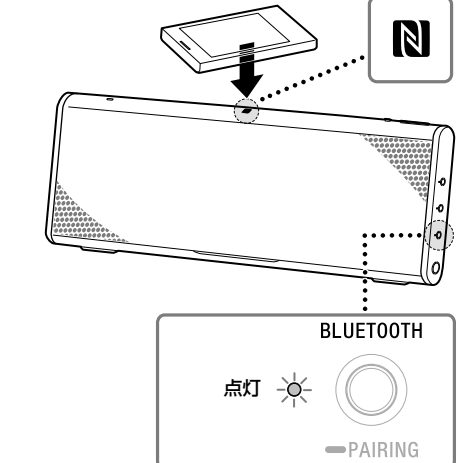
#### 2 スマートフォンで「NFC簡単接続」を起動する。

アプリの画面が表示されていることを確認します。

#### 3 スマートフォンを本機にタッチする。

本機のNマーク部分にスマートフォンをタッチします。スマートフォンが振動するまで、タッチし続けてください。

**本機を認識するとスマートフォンが振動します**



画面の指示にしたがって接続を完了してください。本機のBluetoothランプ(青色)が点滅から点灯に変わったら、本機とスマートフォンが接続された状態になります。

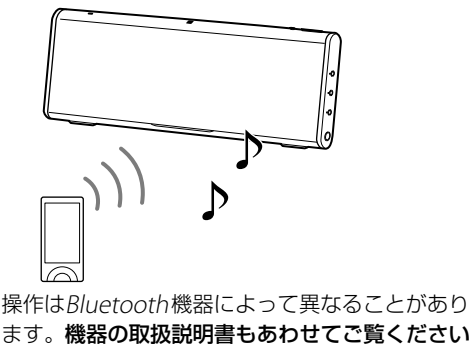
#### ☞ヒント

- 接続がうまくいかないときは次のことを行ってください。
  - スマートフォンでアプリを起動し、本機のNマーク部分の上でゆっくり動かす。
  - スマートフォンにケースを付けている場合は、ケースをはずす。

- 接続を切断するには、もう一度タッチします。ヘッドホンなど他のNFC対応機器に接続しているNFC対応スマートフォンを本機にタッチすると、ワンタッチで本機に接続を切り換えることができます(乗り換え機能)。

### 音楽を聞く

お使いの機器に搭載されたBluetooth機能を使って音楽をワイヤレスに楽しめます。



操作はBluetooth機器によって異なることがあります。機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

- 本機とBluetooth機器を接続する。**  
接続方法については「Bluetooth機器を本機に接続する」をご覧ください。接続が完了すると、本機のBluetoothランプ(青色)が点灯します。
- Bluetooth機器を再生して、音量を調節する。**  
Bluetooth機器を適度な音量にして、本機のVOLUME −/+ ボタンで調節します。

#### ☞ヒント

本機はSCMS-T方式のコンテンツ保護に対応しています。SCMS-T方式対応の携帯電話やワンセグTVなどの音楽(または音声)を、本機で聞くことができます。

#### オートパワーオフ

ハンズフリー機能を使っておらず(HFP/HSPで接続していないとき)、DC OUT ONLY端子でスマートフォンなどを充電もしていない場合、音楽が止まった状態が20分以上続くくと、本機の電源が自動的に切れます。

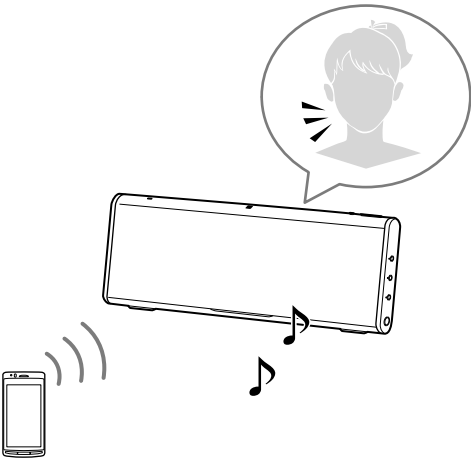
#### 使い終わるには

以下の手順のいずれかを行ってください。

- Bluetooth機器のBluetooth機能をオフにする。詳しくは、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth機器の電源を切る。
- 本機の電源を切る。
- もう一度本機にタッチする(NFC機能搭載のスマートフォンの場合)。

### 音楽を楽しみながらハンズフリーで通話する

お使いのBluetooth対応携帯電話が音楽再生機能を持ち、A2DPおよびHFPまたはHSPに対応していれば、本機で音楽を聞いているときでもハンズフリーで通話できます。Bluetooth対応携帯電話がHFPとHSPの両方に対応している場合は、HFPを使用してください。



操作はBluetooth対応携帯電話によって異なることがあります。**お使いの携帯電話の取扱説明書もあわせてご覧ください。**

- 本機とBluetooth対応携帯電話を接続する。**  
接続方法については「Bluetooth機器を本機に接続する」をご覧ください。接続が完了すると、本機のBluetoothランプ(青色)が点灯します。
- Bluetooth対応携帯電話を再生して、音量を調節する。**  
携帯電話を適度な音量にして、本機のVOLUME −/+ ボタンで調節します。

#### 電話をかけるには

Bluetooth対応携帯電話を操作して発信します。本機から発信音が聞こえるのを確認し、本機のマイクに向かって発信してください。本機から発信音が聞こえないときは、本機の☑ (通話) ボタンを約2秒押し続け本機に音声を切り換えます。

#### 電話を受けるには

着信があるとき、再生中でも音楽が一時停止し、本機から着信音が聞こえます。☑ (通話) ボタンを押して本機のマイクに向かって発信してください。

#### ☞ヒント

- 着信があっても本機から着信音が聞こえないときは、再生中の音楽を停止し、☑ (通話) ボタンを押して通話します。
- 音楽再生が終了しても、本機のハンズフリー機能を使って通話ができます。
- 通話時の音量は、本機のVOLUME −/+ ボタンで調節してください。

#### ☞注意

通話中は左スピーカーからのみ音声を出力します。

- 携帯電話は、本機から50 cm以上離してお使いください。本機と携帯電話が近いとノイズが入ることがあります。

#### 電話を切るには

☑ (通話) ボタンを押します。音楽再生中は、再生に戻ります。

#### 使い終わるには

以下の手順のいずれかを行ってください。

- Bluetooth機器のBluetooth機能をオフにする。詳しくは、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth機器の電源を切る。
- 本機の電源を切る。
- もう一度本機にタッチする(NFC機能搭載のスマートフォンの場合)。

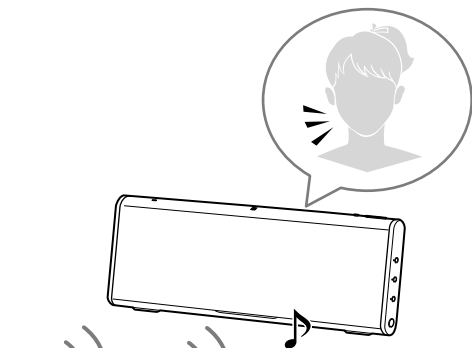
#### 通話時に本機でできること

Bluetooth対応携帯電話が対応しているプロフィールによって異なります。また、プロフィールが同じでも、携帯電話によってできる機能も異なります。お使いの携帯電話に付属の取扱説明書をご確認ください。

| 状態   | ☑ (通話) ボタンの操作                                                                                                          |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 待受け中 | <ul style="list-style-type: none"><li>1回押すと、対応の携帯電話であればボイスダイヤルを開始します。</li> <li>約2秒押し続けると、前回かけた電話番号にリダイヤルします。</li></ul> |
| 発信中  | <ul style="list-style-type: none"><li>1回押すと、発信を中断します。</li> <li>約2秒押し続けると、通話機器を本機⇄携帯電話で切り換えます。</li></ul>                |
| 着信中  | <ul style="list-style-type: none"><li>1回押すと、電話を受けます。</li> <li>約2秒押し続けると、着信を拒否します。</li></ul>                            |
| 通話中  | <ul style="list-style-type: none"><li>1回押すと、通話を終了します。</li> <li>約2秒押し続けると、通話機器を本機⇄携帯電話で切り換えます。</li></ul>                |

#### 音楽再生中に別の機器で通話するには

本機はマルチポイントに対応しているため、Bluetooth対応音楽プレーヤーで音楽を聞きながら、別のBluetooth対応携帯電話でハンズフリー通話ができます。



- ワンタッチ(NFC)接続では、他の機器を追加して接続することはできません。
- 接続の方法はBluetooth機器によって異なります。また、機器の組み合わせによっては接続できない場合もあります。お使いの機器に付属の取扱説明書もご覧になり、接続操作をしてください。

- 本機とBluetooth対応音楽プレーヤーをA2DPで、Bluetooth対応携帯電話をHFPまたはHSPで接続する。**  
接続方法については「Bluetooth機器を本機に接続する」をご覧ください。接続が完了すると、本機のBluetoothランプ(青色)が点灯します。

- ☞ヒント**  
音楽再生機能を持つBluetooth対応携帯電話で通話するには、携帯電話側で、A2DPではなくHFPまたはHSPのどちらかを選んで接続してください。
- 機種によっては、HFPまたはHSP接続をするとき、A2DPに接続されてしまう場合があります。その場合、別の音楽プレーヤーは接続できません。

- ☞注意**  
使い終わった後に、再び同じ2台の機器と接続するには、もう一度上記の手順で操作してください。

### 音響効果を楽しむ

SOUNDボタンにより、お好みの音響効果が楽しめます。

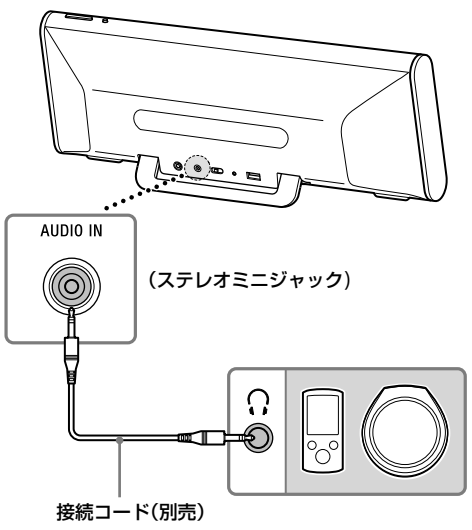
- SOUNDボタンを押して音響効果を選ぶ。**  
SOUNDランプに現在のサウンド設定が表示されます。SOUNDボタンを押すことに設定が切り換わります。

| 状態 | サウンド効果                 |
|----|------------------------|
| 点灯 | ハイクオリティな低音が出力され(オレンジ色) |
| 点滅 | サラウンド効果が楽しめます(緑色)      |
| 消灯 | サウンド設定がオフになります。        |

**☞ヒント**  
本機の電源を切っても、サウンド設定は保存されます。

### ポータブルオーディオ機器などの音楽を接続コードをつないで聞く

- 聞きたい機器を接続する。



- 本機の電源を入れる。**
- つないだ機器の電源を入れる。**
- 本機のAUDIO INボタンを押す。**

## 警告

# 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがおそれます。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守るこの「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する1年に1度は、ACアダプターのプラグ部とコンセントの間にほりかたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない動作がおかしくなったり、キャビネットやACアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口 に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- 電源を切る
- ACアダプターをコンセントから抜く
- ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理を依頼する

**警告表示の意味**取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

| 注意を促す記号                                                                    |
|----------------------------------------------------------------------------|
| <span></span> <span></span> <span></span>                                  |
| 注意 <span></span> 火災 <span></span> 感電 <span></span>                         |
| 行為を禁止する記号                                                                  |
| <span></span> <span></span> <span></span> <span></span> <span></span>      |
| 禁止 <span></span> 分解禁止 <span></span> ぬれ手禁止 <span></span> 接触禁止 <span></span> |
| 行為を指示する記号                                                                  |
| <span></span> <span></span> <span></span>                                  |
| フラグをコンセントから抜く <span></span> 指示 <span></span>                               |

**危険** 下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火**により**死亡や大けが**の原因となります。

**付属以外のACアダプターを使わない**家庭用電源で使用するときは、必ず付属のACアダプターを使用してください。破裂や過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。**火の中に入れない**

**分解しない**故障や感電の原因となります。内部の点検および修理はソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご依頼ください。**火のそばや炎下などへ放置しない**

**警告** 下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火**により**死亡や大けが**の原因となります。

**内部に水や異物を入れない**火災や感電の危険をさけるために、ACアダプターを水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、ACアダプターの上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

**本機背面の端子や通風孔に異物を入れない**端子などがショートして、誤動作や故障の原因となることがあります。**雷が降りだしたら、ACアダプターに触れない**感電の原因となります。**ぬれた手でACアダプターにさわらない**感電の原因となることがあります。

**本体やACアダプターを布類などでおおった状態で使わない**熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

**ACアダプターは抜き差ししやすいコンセントに接続する**ACアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。通常、本機の電源を切っただけでは、完全に電源から切り離せません。

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

**はじめからボリュームを上げすぎない**突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、デジタルオーディオプレーヤーなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。

**通電中のACアダプターや製品に長時間ふれない**長時間皮膚がふれたままになっていたり、低温やけどの原因になることがあります。

**本機を航空機内で使わない**電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

**本機を医療機器の近くで使わない**電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。消費電率などの複雑した場所や医療機関の室内では使わないでください。

**本機を心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離す**電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

**長時間使用しないときはACアダプターを抜く**長時間使用しないときは、安全のためACアダプターをコンセントから抜いてください。

**お手入れの際、ACアダプターを抜く**ACアダプターを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

**本機は国内専用です**海外では国によって電波使用制限があるため、本機を使用した場合、罰せられることがあります。

## 電池についての安全上のご注意

### 液漏れ・破裂・発熱・発火による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

本機ではリチウムイオン電池を使用しております。  
充電電池  
内蔵リチウムイオン電池

**危険** 電池が液漏れしたとき電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらない液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口またはソニーサービス窓口にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

**注意**

- 直射日光が長時間当たる場所や、暖房器具の近くなど温度が非常に高い(60℃以上)ところや、湿気の多いところでのご使用、放置は避けてください。特に窓をしめきった自動車内(季節により60℃を超えることがあります)などに放置したまま直射日光をあてると窓ガラスのレンズ効果により一層加熱が促進されることがあり、キャビネットが変形したり故障の原因になりますので、充分にご注意ください。
- 電池は、直射日光、火などの過度な熱にさらさないこと。

### 使用上のご注意

**携帯電話について**

- 携帯電話から本機へ音楽を送信しているとき、着信があった場合の携帯電話の動作について、詳しくはお使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

**安全について**

- 付属のACアダプターをお使いになるときは、家庭用電源コンセント(AC100 V)につないでお使いください。

**ACアダプターについて**

- ACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らずに、必ずACアダプターを持って抜いてください。
- ACアダプターを抜き差しする前に電源をお切りください。電源を入れたまま抜き差しすると、誤動作の原因になることがあります。
- この製品には、付属のACアダプター(極性統一形プラグ-JEITA規格)をご使用ください。付属以外のACアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。
- 付属のACアダプターは本機専用です。他の機器でもご使用にできません。
- ACアダプターを本機や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。

**取り扱いについて**

- スピーカーユニット、内蔵アンプ、キャビネットは精密に調整してあります。分解、改造などしないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
  - ― 直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど、温度の高い所
  - ― 窓を閉め切った自動車内(特に夏季)
  - ― 風呂場など、湿気の多い所
  - ― ほこりの多い所、砂地の所
  - ― 時計、キャッシュカードなどの近く

(録音済みテープや時計、キャッシュカード、フロッピーディスクなどは、スピーカーの前面に近づけないでください)

- 平らな場所に設置してください。
- 設置条件によっては、倒れたり落下したりすることがあります。貴重品などを近くに置かないでください。
- 持ち運ぶ際、フロッピーディスクやクレジットカードなど磁気の影響を受ける物は、スピーカーの近くに置かないでください。
- キャビネットが汚れたときは、中性洗剤を少し含めた柔らかい布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。

**その他のご注意**

- 他に疑難点や問題点がある場合は、もう一度この取扱説明書をよく読んでから、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

## Bluetooth機器について

**機器認定について**
本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときは無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本機を分解・改造すること

**周波数について**
本機は2.4 GHz帯の2,400MHzから2,4835 MHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器とての電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

| 2.4 F H 1 | この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10 mです。 |
|-----------|----------------------------------------------------------|
|-----------|----------------------------------------------------------|

Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG,INC.の商標で、ソニーはライセンスに基づき使用しています。「おサイフケータイ」は株式会社NTTドコモの登録商標です。NマークはNFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。AndroidはGoogle Inc.の商標です。その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

規格板は、**本機の底面とACアダプターの表面に表示してあります。**

### Bluetooth無線技術について

Bluetooth無線技術は、パソコンやデジタルカメラなどのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。およそ10 m 程度までの距離で通信を行うことができます。必要に応じて2 つの機器をつなげて使うのが一般的な使い方ですが、1 つの機器に同時に複数の機器をつなげて使うこともあります。無線技術によってUSB のように機器同士のように機器同士を向かい合わせたりする必要もありません。例えば片方の機器をかばんやポケットに入れて使うこともできます。

Bluetooth標準規格は世界中の数千社の会社が賛同している世界標準規格であり、世界中のさまざまなメーカーの製品で採用されています。

**Bluetooth機能の対応バージョンとプロファイル**
プロファイルとは、Bluetooth機器の特性ごとに機能を標準化したものです。本機は下記のBluetoothバージョンとプロファイルに対応しています。
対応Bluetoothバージョン:
Bluetooth標準規格Ver. 3.0準拠
対応Bluetoothプロファイル:

- ― A2DP(Advanced Audio Distribution Profile): 高音質な音楽コンテンツを送受する。
- ― AVRCP(Audio Video Remote Control Profile): 音量の大小を操作する。
- ― HSP(Headset Profile): 通話／携帯電話を操作する。
- ― HFP(Hands-Free Profile):ハンズフリーで通話／携帯電話を操作する。

**通信有効範囲**
見通し距離で約10 m以内で使用してください。以下の状況においては、通信有効範囲が短くなる場合があります。

- ― Bluetooth接続している機器の間に人体や金属、壁などの障害物がある場合
- ― 無線LANが構築されている場所
- ― 電子レンジ使用中の周辺
- ― その他電磁波が発生している場所

**他機器からの影響**
Bluetooth機器と無線LAN(IEEE802.11b/g)は同一周波数帯(2.4 GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- ― 本機とBluetooth機器を接続するときは、無線LANから10 m以上離れたところで行う。
- ― 10 m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。

**他機器への影響**
Bluetooth機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故が発生させられるようになりますので、次の場所では本機およびBluetooth機器の電源を切ってください。

- ― 病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
- ― 自動車や火災報知機の近く

**ご注意**

- Bluetooth機能を使うには、相手側Bluetooth機器が本機と同じプロファイルに対応している必要があります。ただし、同じプロファイルに対応していても、Bluetooth機器の仕様により機能が異なる場合があります。
- Bluetooth無線技術の特性により、送信側での音声・音楽再生に比べて、本機側での再生がわずかに遅れます。
- 本機は、Bluetooth無線技術を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容等によってセキュリティが充分でない場合があります。Bluetooth無線通信を行う際はご注意ください。
- Bluetooth技術を使用した通信時に情報の漏洩が発生しましても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機と接続するBluetooth機器は、Bluetooth SIGの定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。ただし、Bluetooth標準規格に適合していても、Bluetooth機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
- 本機と接続するBluetooth機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。

### 主な仕様

|                   |                                                                                      |
|-------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>スピーカー部</b>     |                                                                                      |
| <b>使用スピーカー</b>    | ステライトスピーカー・直径約48 mm×2                                                                |
|                   | サブウーファー・直径約80 mm×1                                                                   |
| <b>エンクロージャー方式</b> | ステライトスピーカー・密閉型                                                                       |
|                   | サブウーファー・バッシュブラジエーター型                                                                 |
| <b>アンプ部</b>       |                                                                                      |
| <b>実用最大出力</b>     | ACアダプター駆動時:10W+10W(ステライトスピーカー・全周調波歪1%、1kHz、6Ω)20W(サブウーファー・全周調波歪1%、100Hz、4Ω)(JEITA*)1 |
|                   | バッテリー駆動時:4W+4W(ステライトスピーカー・全周調波歪10%、1kHz、6Ω)8W(サブウーファー・全周調波歪10%、100Hz、4Ω)(JEITA*)1    |

|                                      |                                                                                                                                  |
|--------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>Bluetooth</b>                     |                                                                                                                                  |
| <b>通信方式</b>                          | Bluetooth標準規格Ver.3.0                                                                                                             |
| <b>出力</b>                            | Bluetooth標準規格Power Class 2                                                                                                       |
| <b>最大通信距離</b>                        | 見通し距離約10 m <sup>※</sup>                                                                                                          |
| <b>使用周波数帯域</b>                       | 2.4 GHz 帯(2,4000 GHz～2,4835 GHz)                                                                                                 |
| <b>変調方式</b>                          | FHSS                                                                                                                             |
| <b>対応Bluetoothプロファイル<sup>※</sup></b> | A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)、AVRCP(Audio Video Remote Control Profile)、HFP(Hands-free Profile)、HSP(Headset Profile) |
| <b>対応コーデック<sup>※</sup></b>           | SBC <sup>※</sup> AAC <sup>※</sup>                                                                                                |
| <b>対応コンテンツ保護</b>                     | SCMS-T方式                                                                                                                         |
| <b>伝送帯域(A2DP)</b>                    | 20 Hz～20,000 Hz(44.1 kHzサンプリング時)                                                                                                 |

<sup>※</sup> JEITAは(電子情報技術産業協会)の略称です。

<sup>※</sup> 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。

<sup>※</sup> Bluetoothプロファイルとは、Bluetooth機器の特性ごとに機能を標準化したものです。

<sup>※</sup> 音声圧縮変換方式のこと

<sup>※</sup> Subband Codec の略

<sup>※</sup> Advanced Audio Codingの略

**マイク部**
**型式**
エレクトレットコンデンサー型
**指向特性**
全指向性
**有効周波数帯域**
50 Hz～10kHz

**電源部・その他**
**入力**
AUDIO IN端子(ø3.5 mm ステレオミニジャック)
USB 端子 Aタイプ(接続機器の充電用)(S/V 最大1.5 A)
DC 15 V(付属のACアダプターを接続してAC100 V～240 V電源から使用)、内蔵リチウムイオン電池を使用

**消費電力(ACアダプター使用時)**
32W(内蔵電池および接続機器充電中)
14W(内蔵電池および接続機器を充電していないとき)
約0.4W(待機時、Bluetoothスタンバイ機能オフ)
約0.2W(待機時、Bluetoothスタンバイ機能オフ)

**リチウムイオン電池の持続時間(Bluetooth接続時)**
約6時間<sup>※</sup>
**最大外形寸法(最大突起部含む)**
約385.0 mm×152.0 mm×65.0 mm(幅/高さ/奥行き)
約2,000 g (充電電池含む)

**質量**
**付属品**
ACアダプター (AC-E1530)(1)
取扱説明書(本書)(1)
Bluetooth®接続ガイド(1)
保証書(本書に付属)
キヤリングケース(1)
<sup>※</sup> 周囲の温度や使用状態により、上記の持続時間と異なる場合があります。

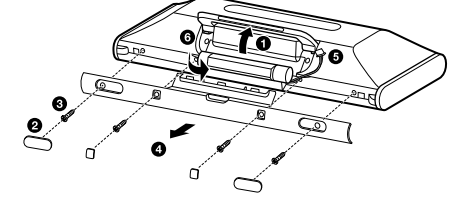
本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

### 本機を廃棄する

環境保護のため、リチウムイオン充電電池を取り出してください。
充電電池を取り出す前に、ACアダプターを抜いて本機を充電電池のみで使用して、充電電池を使い終わってください。

**警告**
**本機を廃棄するとき以外は絶対にキャビネットを開けないでください。**

- 本機の電源を切って、ACアダプターをはずす。
- 本体**背面のカバー**を取りはずし、充電電池を取り出す。
  - スタンドを開く。
  - 本機底面4か所にあるゴムカバーをはずす。
  - 4個のねじをはずす。
  - ふたをとりはずす。
  - 充電電池のネジを本機からはずす。
  - 充電電池を取り出す。



**ご注意**
充電電池を取り出すとき、金属製ピンセットなどで**日本国内での充電式電池の廃棄について**
リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、リサイクル協力店をお持ちください。充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、一般社団法人JBRCホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.htmlを参照してください。

**保証書とアフターサービス**
**保証書**

- 本書には、保証書が印刷されています。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

**アフターサービス**
**調子が悪いときはまずチェックを**
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
**それでも具合の悪いときは**
お買い上げ店、またはソニーの相談窓口(下記)にご相談ください。修理をご依頼の際は、付属のACアダプターを本体と一緒にをお持ちください。

**保証期間中の修理は**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
**保証期間経過後の修理は**
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
**部品の保有期間について**
当社ではアクティブスピーカーシステムの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

|               |                                            |                                                                                  |
|---------------|--------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| <b>EQ OFF</b> | つないだ機器の音量は大きすぎませんか？                        | <b>テレビから離してください。</b>                                                             |
| <b>EQ OFF</b> | つないだ機器のイコライザー機能はオフになっていますか？                | <b>HFPやHSPでのBluetooth接続は</b> <p>HFPやHSPでのBluetooth接続ではなく、A2DPでの接続に切り換えてください。</p> |
| <b>EQ OFF</b> | 電子レンジや無線LANなどから離してください。                    | ラジオやチューナーを内蔵した機器につなぐと、放送が受信できなくなったり、感度が低下することがあります。機器から離してご確認ください。               |
| <b>EQ OFF</b> | 本機をBluetooth機器に近づけてください。障害物がないときにはどけてください。 | BATTERY/CHARGEランプが緑色に点滅していたら、ACアダプターをつないで充電してください。                               |

| よくあるお問い合わせ。窓口受付時間などはホームページをご覧ください。<br><b>http://www.sony.jp/support/</b>  |                                      |
|---------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|
| 使い方相談窓口                                                                   | 修理相談窓口                               |
| フリーダイヤル<br>……………0120-333-020                                              | フリーダイヤル<br>……………0120-222-330         |
| 携帯電話 PHS 一部IP電話<br>……………0466-31-2511                                      | 携帯電話 PHS 一部IP電話<br>……………0466-31-2531 |
| <div><b>FAX (共通) 0120-333-369</b></div>                                   |                                      |
| <small>上記要領へ連絡後、適切なスタッフが渡れている間に「30秒」＋「F」を押してください。直線、担当窓口へおつなぎします。</small> |                                      |
| ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1                                            |                                      |

**故障かな？と思ったら**

|           |                            |              |                                                                                |
|-----------|----------------------------|--------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| <b>ON</b> | 接続先の機器と本機の電源は入っていますか？      | <b>ペアリング</b> | パソコンと接続しているとき、パソコンの音声出力先はBluetoothになっていませんか？                                   |
|           | 接続先の機器と本機の音量は小さすぎませんか？     |              | Bluetooth機器と本機をもう一度ペアリングしてください。                                                |
|           | 接続先の機器で再生されていますか？          |              | モノラル機器につないだときは、左スピーカーからしか音が出せん。別売のプラグアダプターPC-236MSを使用すると左右のスピーカーから音が出るようになります。 |
|           | 接続先の機器で再生されていますか？          |              |                                                                                |
|           | 接続コードのプラグはしっかりと差し込まれていますか？ |              |                                                                                |

**音が割れる、ノイズが出る、音が途切れる**

|                                            |             |                                                                    |
|--------------------------------------------|-------------|--------------------------------------------------------------------|
| つないだ機器の音量は大きすぎませんか？                        | <b>A2DP</b> | HFPやHSPでのBluetooth接続は                                              |
| つないだ機器のイコライザー機能はオフになっていますか？                |             | ラジオやチューナーを内蔵した機器につなぐと、放送が受信できなくなったり、感度が低下することがあります。機器から離してご確認ください。 |
| 電子レンジや無線LANなどから離してください。                    |             | BATTERY/CHARGEランプが緑色に点滅していたら、ACアダプターをつないで充電してください。                 |
| 本機をBluetooth機器に近づけてください。障害物がないときにはどけてください。 |             |                                                                    |

**ペアリングできない**

Bluetooth ランプ(青色)が早く点滅していなかったら、本機のBLUETOOTH-PAIRING ボタンを、ピッピッという音が聞こえるまで押し続けてください。

**通話相手の声が聞こえない、声が小さい**

接続先の機器と本機の電源は入っていますか？
**HFP/HSP**
Bluetooth機器を操作して接続ではなく、A2DPによって繋ぎます。接続に何度も失敗する場合は、スマートフォンのお手元操作で接続／切断してください。

通話中に本機から音がでるようになっていないか、Bluetooth機器の音声設定を確認してください。
接続先の機器と本機の音量は小さすぎませんか？
**ワンタッチ(NFC)で接続できない**

|                                                            |                                                                         |
|------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| スマートフォンが振動するまで本機はNマークに近づけたままにして、反応しない場合はゆっくり前後左右に動かしてください。 | スマートフォンにケースを付けている場合は、ケースをはずしてください。                                      |
| スマートフォンのNFC機能がオフになっているか確認してください。                           | NFCの受信感度は、お使いのスマートフォンによって異なります。接続に何度も失敗する場合は、スマートフォンのお手元操作で接続／切断してください。 |
| おサイフケータイの場合は、「NFC(簡単接続)アプリが画面に表示されているか確認してください。            |                                                                         |

対応するBluetooth機器について詳しくは、下記ソニーホームページをご覧ください。
<http://www.sony.jp/support/av-acc/>